

## 口腔機能発達不全症について

令和8年度診療報酬改定において、新たな点数項目に「**口腔機能実地指導料(46点)**」が新設されました。

これまで、歯科衛生士による口腔機能に関する実地指導は、「**歯科衛生実地指導料**」の加算(口腔機能指導加算)として評価されていました。しかし、今回の改定によりこの加算は廃止され、研修を受けた歯科衛生士が行う専門的な指導を評価する独立した項目として「**口腔機能実地指導料**」が新設されました。対象となる患者は、口腔機能の発達不全を認める患者、または口腔機能の低下を認める患者とされています。

そこで、今回は「**口腔機能発達不全症**」についてご紹介いたします。

### こんなことで困っていませんか？



### 口腔機能発達不全症とは

口腔機能発達不全症とは、2018年に保険適用になった新しい歯科の病名で、18歳未満の子どもで生まれつきの障害がないにも関わらず食べる、話すなどのお口の機能が十分に発達していない状態を言います。最近の調査では10代の半分近くが口腔機能発達不全症の疑いのある症状を経験しているという結果が出ています。その背景に軟らかくてあまり噛まなくても飲み込める食べ物が好まれ、噛む力が発達しないということも言われています。

出典：公益財団法人 8020 推進財団  
[8020 読本 口腔機能発達不全症ってなあに？](https://www.8020.or.jp/)

### 口腔機能発達不全症の治療

お子様の口腔機能に関して気になることがありましたら歯科医院の受診をお勧めします。口腔機能発達不全症の治療は「食べる・話す」などの口腔機能が正しく発揮できるお口をつくることですので、むし歯の治療、正しい食べ方の指導や口周りの筋肉や舌を鍛える訓練などです。矯正装置を使った治療などの特別な処置ではありません。また、健康保険を利用して受けられるようになっていきます。歯科医院とご家庭での適切なサポートによってお子さんの口腔機能をしっかりと育てていきましょう。

出典：公益財団法人 日本小児歯科学会  
<https://www.jspd.or.jp/recommendation/article26/>

### 「歯と口の健康週間」(6月4日～10日)

この週間は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的としています。

出典：日本歯科医師会



### お口と体の雑学クイズ

○か×でお答えください。

- (1)人間の骨の数は成長すると減る。
- (2)花粉症で鼻が詰まると口は乾きやすい？

※答えは4面